

第6学年 国語科学習指導案

生駒市立生駒小学校	講師	上村浩之
	教諭	石黒真衣
	教諭	大仲洋也
	教諭	泉谷利恵子
	講師	平矢幸子
	講師	和泉愛里

1. 単元名 「大切にしたい言葉～I LOVE♡ 生駒 ^{ふるさと} 故郷 生駒～」

2. 単元の目標

- ・話や文章の構成や展開について理解する。 (知識・技能)
- ・目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりして、自分の考えが伝わるように書く。 (思考・判断・表現)
- ・思いや考えを伝えようとする。 (主体的に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

「大切にしたい言葉」は自分が大事にしたい言葉を決め、その理由を経験と結び付けて構成を工夫して書く教材である。自分の伝えたいことを伝えるためにどの経験を選ぶかが大切となる。本単元では大事にしたい言葉ではなく、「ふるさと生駒」という意見とする。また、経験だけでなく集めた情報とも結びつけて意見を伝えるために、どの構成で書くかということを学ぶ教材である。

(2) 児童観

児童は「書くこと」に苦手意識をもっている。「書くこと」の意識調査では、45.5%の児童が「書くこと」を「どちらかといえば好きではない」「好きではない」と答えている。その理由として、「何を書いたらいいかわからない。」「構成を考えるのが苦手」という意見があった。全国学力・学習状況調査の結果においてもその傾向は顕著に見られ、「書くこと」の項目では全国平均を下回っていた。自分が書いた内容を誰かに伝えることや、見られることを避ける傾向(78.8%)もみられる。それは、「書くこと」に対する自信のなさが原因だと考えられる。しかし、「文章をもっと上手に書けるようになりたいか」という項目に対しては91%の児童が「上手に書けるようになりたい」と答えていることから、伝えたいことを明確にするために構成を意識することや、どの具体例を詳しく伝えるとより伝えたいことが伝わるか区別する力をつけていくことで「書くこと」への自信につながると考える。

(3) 指導観

「ふるさと生駒」をグループで一つの意見文として記述する。そして、それ

をプレゼンテーションするという表現活動を単元の最終に設定する。第1次では、自分たちが生駒市での生活を振り返り、良いところや好きなところを振り返らせる。それらが、自分たちの住む生駒を「ふるさと」と認識することにつながる。同じような点に着目した児童でグループ構成をすることで、意見文を書くときに調べたことを共有しやすくする。ここでは、明確な意見を持つことでなく、「ふるさと」って何？や「自分たちが住む街 生駒」について調べたいと思う児童の意欲を大切にしたい。

第2次では、本やインターネットなどの資料や、家族や市内で働く人などへの聞き取りをもとに、それぞれのテーマについて意見文を書いていく。ここで大切にしたいのは2つである。1つ目は、調べる中で出てきた気になることなど児童の関心をつなげていくこと。「なぜ、良いと感じるのか」「どうすればこの町をよりよくしていけるのか」など疑問を調べ学習につなげていくために、十分な調査の時間の確保と、教師はサポートするという立場をとりたい。関心のあることを聞き、「では、こういうキーワードで調査したら？」などと、児童の関心に寄り添いながら、どういった情報を得るとよいかをアドバイスしたい。そうすることで「ふるさと生駒」という意見をもたせていきたい。

2つ目は情報の可視化である。集めた情報をロイロノートで共有し、分類する。その中で、自分たちが伝えたいことを伝えるためにどの情報を選ぶとよいかを考える。タブレットを用いることで、操作しやすく情報の取捨選択がしやすくなることや、書くことへの抵抗がある児童でも修正がしやすいという利点があると考えている。また、選ぶ情報が決まれば、教科書のモデル文をもとに、意見文の構成を考えていく。

第3次では、自分たちが書いた意見文をプレゼンテーションという形で自分たちが考えたことを発表する。ここでは、調査をしたり意見文を書いたりする中で生まれた「ふるさと」への思いや伝えたいという児童の思いを大切にしたい。プレゼンテーションでは、グループによって模造紙やパワーポイント、ペープサート、紙芝居等方法は異なるが、話し方や資料の示し方のモデルをできるだけたくさん示したい。

(4) ESDとの関連

○本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

- ・多様性・・・生駒市にはこれからも大切にしていきたいものや風景、よさがいろいろある。
- ・相互性・・・現在の地域の様子は、そのままの未来の地域の姿ではあるが、自分達が大人になったときにそうならない可能性があるということ。

○本学習を通して育てたいESDの資質・能力

- ・コミュニケーションを行う力・・・「ふるさと生駒」と思えるような街づく

りについて、意見交流を通して自分の考えをつくりあげる。

・協同的問題解決力・・・テーマごとのグループで協力して、最後まで取り組むことができる。

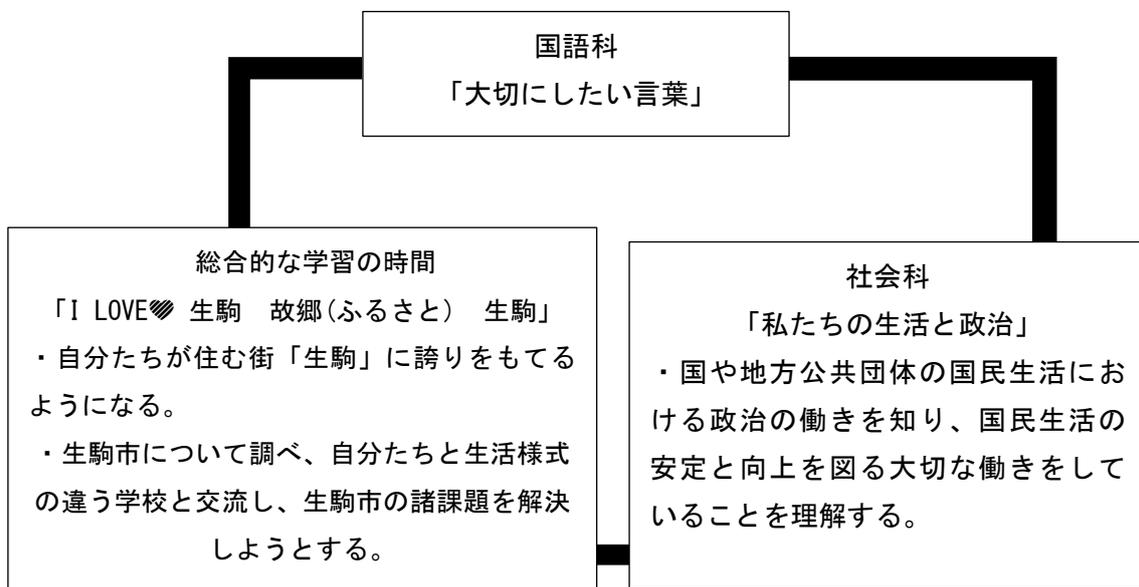
○本学習で変容を促すESDの価値観

・世代間の公正・・・生駒市に受け継がれてきた良さは、次の世代へきちんと引き継がなければならない。

○達成が期待されるSDGs

11. 住み続けられるまちづくりを

(5) 他教科との関連



4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、適切な語や語句を使っている。	① 「ふるさと生駒」とそれにかかわる経験を選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ② 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(B(1)ウ)	① 学習の見通しをもち、「ふるさと生駒」について考えようとしている。 ② 自分の考えが伝わるように書き表し方を粘り強く吟味し、見通しをもって「ふるさと生駒」についての文章を書こうとしている。

	③ 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ)	
--	---	--

5. 単元の指導計画 (全6時間)

単元の指導計画	主な学習活動	学習への支援	評価
1	<p>1 ○生駒市のよさについて意見を出し合う。</p> <p>2 ○伝えたいことを伝えるための情報が集まっているかを確認するために、情報をロイロノートに整理し、意見文を書くための構成メモを書く。</p>	<p>○できるだけいろいろな視点でよいところを考えるように伝える。</p> <p>○関心のある内容をグループを編成することで情報を共有して、伝えたいことを明確にできるようにする。</p>	<p>ウ① 発言・ロイロノート</p> <p>イ② ロイロノート</p>
2	<p>3 (本時) ○伝えたいことが伝わるようにモデル文の構成を知り、意見文を書く。</p> <p>4 ○できた意見文を交流し、伝えたいことが伝わるか相互評価する。</p>	<p>○構成は双括型、頭括型、尾括型から選ぶようにする。</p> <p>○他グループからの意見を聞いて、自分たちの伝えたいことは伝わっているかを振り返るようにする。</p>	<p>ウ② イ① ロイロノート</p> <p>イ③ 発言・ロイロノート</p>
3	<p>5・6 ○書いた意見文をグループで整理し、その意見文をもとに、プレゼンテーションの準備をする。</p>	<p>○話し方、資料の使い方、聞き手をひきつけるという観点で意識するとよいことを示し、準備をするようにする。</p>	<p>ア① ロイロノート プレゼンテーション資料</p>

5. 本時案（1/6）

○本時のめあて

「自分たちの住む街のよさを考えよう。」※教師目線で

○本時の展開

	学習活動	学習への支援	評価
導入	○本時のめあてを確認する。		
	私たちの住む生駒市の良いところってどんなところだろう。		
展開	○自分の経験から、「生駒のいいところ」や「生駒のこんなところが好き」という意見をロイロノートに書き込んでいく。 ○家族や生駒市に住んでいる人、働いている人に「生駒のよさ」を聞くための計画を立てる。	・聞くための方法として、直接聞いたりアンケートをしたりできるようにする。	学習の見通しをもち、「ふるさと生駒」について考えようとしている。
まとめ	○次時の活動を知る。	・	

本時案（2/6）

○本時のめあて

「情報を整理し、意見文を書く計画を立てよう。」

○本時の展開

	学習活動	学習への支援	評価
導入	○本時のめあてを確認する。		
	生駒のどんなことを伝えとよいか整理しよう。		
展開	<p>○集めてきた情報を整理する。</p> <p>○伝えたい「生駒のよさ」をテーマとしてひとつ選ぶ。</p> <p>○同じテーマのメンバーと情報を共有し、足りない部分について調べる。</p> <p>○何を書けば「生駒のよさ」が伝わるかを考えてテキストに書き入れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場所や内容でシートの色を変えるなど、分かりやすくする。 ・様々な視点で物事をとらえるよう支援する。 ・伝えることによってテキストを替えるよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 (思考・判断・表現 B(1)ウ)
まとめ	○次時の活動を知る。	・	

本時案（3/6）

○本時のめあて

「伝えたいことが明確になるよう構成を考えて、意見文を書く。」

○本時の展開

	学習活動	学習への支援	評価
導入	○本時のめあてを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 構成を考えて、「ふるさと生駒」の意見文を書こう。 </div>			
展開	<p>○書き方の構成例を確かめる。</p> <p>○ロイロノートの構成メモをもとに組み合わせて、構成を考える。</p> <p>○「ふるさと生駒」の意見文をロイロノートに書き込む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・初め・・・100字程度 ・中・・・400字程度 ・終わり・・・100字程度 </div> <p>○書き上げた意見文をロイロノートの提出箱に提出する。</p>	<p>・構成の例を提示し、どの構成が自分の意見にあっているか考えられるようにする。</p> <p>・ロイロノートの共有ノートから必要な情報を取り出せるようにする。</p> <p>・自分の経験・体験が構成には必ず入よう確認する。</p> <p>・接続詞が正しく使えているか、伝えたいことが構成例に沿って書かれているか意識するように伝える。</p>	<p>・自分の考えが伝わるように書き表し方を粘り強く吟味し、見通しをもって「ふるさと生駒」についての文章を書こうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p> <p>・「ふるさと生駒」とそれにかかわる経験を選び、伝えたいことを明確にしている。（思考・判断・表現）</p>
まとめ	○次時の活動を知る。	・次時につながるよう意識させる。	